

私は、人工衛星等の姿勢制御に用いられる小型ロケットエンジン（推進機）の研究を行っています。その中でも電磁的・電熱的な加速を得られる電気推進機（一種であるパルスプラズマ推進機（PPT））をテーマ対象としています。従来のPPTでは推進剤に固体物質（主にテフロン）

論文作成や発表練習は、同時に研

発表を通して学んだこと

おわりに

はじめに

2013年7月14日〜17日にAIAA (American Institute of Aeronautics and Astronautics) が主催する49th Joint Propulsion Conferenceに参加しました。開催場所はカリフォルニア州のサンノゼです。

私は、本学会への参加が初めての海外への渡航でした。学部生の頃から、今後の自身の成長のために在学中に一度は海外へ行く決意をしていました。英語が不得意のため、学会発表は私にとっては大きな挑戦でしたが、英語としっかり向き合うことは今しかできないと考え、参加を決意しました。サンノゼは日本から飛行機で約9時間、時差は16時間です。カラッとした暑さで日本の夏とは違い、非常に過ごしやすい気候でした。

発表を進めながら行う必要があったため、時間の管理を徹底して行いました。発表練習では発音の面で非常に苦労しました。発表するにあたり、外国の方に理解して聞いていただきたかったため、電子辞書の音声を何度も聞いて復唱することや、ゆっくり喋ることを意識しました。

このような貴重な体験に経済面で奨学金を援助していただいた明専会、論文執筆および発表内容に関して、指導いただいた橋武史教授に厚く御礼申し上げます。



工学府機械知能工学専攻M2 千葉 麻里佳

アメリカ航空宇宙学会に参加して

を用いており、低効率であることが問題でした。液体推進剤を用いることで効率の向上が図れるのではないかと考え、ジメチルエーテルを用いて、様々な条件下で実験を行っています。

初めての海外



会場周辺

この経験を活かすため、英語をさらに勉強し、社会人になっても海外での仕事に積極的に取り組んでいきたいと思えます。



発表時の様子